

院内がん登録集計表 -2014年診断症例- について

この集計表は、国が指定する登録様式に準拠して登録されたデータを使用して、東広島医療センターの部位別のがんの件数や、部位別のがんの拡がりごとの治療法を示しています。  
これらの集計は、広島県内のがん診療連携拠点病院16施設で統一されています。

集計表の項目説明	集計対象期間	2014年1月1日 ~ 2014年12月31日	
	集計対象症例	東広島医療センターにがんの診断、および治療を目的に初めて受診した症例	
	I 部位別 院内がん登録 登録件数	<p>&lt;登録部位&gt; 原発部位別(臓器別)に集計 転移・再発については登録対象外 1腫瘍1登録</p> <p>&lt;構成比&gt; 院内がん登録の対象となった全がんに占める部位別登録数の割合</p>	
	II 5大がん別件数	我が国で罹患の多い5大がん(胃・大腸・肺・乳・肝)について年別推移を集計	
III 症例区分別 登録件数割合	<p>症例区分1: 自施設でがんと診断のみされた症例 (当院でがんと診断され、当院で初回治療の施行なしの症例)</p> <p>症例区分2: 自施設診断・自施設初回治療 (当院でがんと診断され、当院で初回治療が施行された症例)</p> <p>症例区分3: 他施設診断・自施設初回治療 (他院でがんと診断され、当院で初回治療が施行された症例)</p> <p>症例区分4: 他施設で治療開始後の症例、または再発の症例</p> <p>症例区分8: その他(セカンドオピニオンなど)</p> <p>&lt;症例区分とは&gt; 生存率を算定する上で対象となる症例範囲を決定する区分</p>		
IV 部位別 ステージ別 治療法件数	部位別	我が国での罹患の多い5大がん(胃・大腸・肺・乳・肝)について集計	
	ステージ UICC7版	<p>UICC(国際対がん連合)の定める病期分類に基づき、病期(ステージ<sup>※</sup>)別に分類</p> <p>UICCでは治療を開始する前(臨床分類)と手術後の病理学的評価(病理学的分類)の分類を行うこととなっている</p> <p>当集計表のステージは、手術施行の場合は病理学的分類を優先し、手術未施行の場合は臨床分類を優先して集計</p> <p><small>※がんの拡がりを0期～IV期(部位により異なる)のローマ数字で表し、数字が大きくなるほど、がんがより進行していることを示している</small></p>	
	治療法 (初回治療)	初回治療とは、治療の開始時点において計画された一連の治療を示し、症例区分の「2」「3」に該当する症例を集計。症状・治療の進行に従って、後に追加された治療や他院で施行された治療については初回治療には含まれない。	

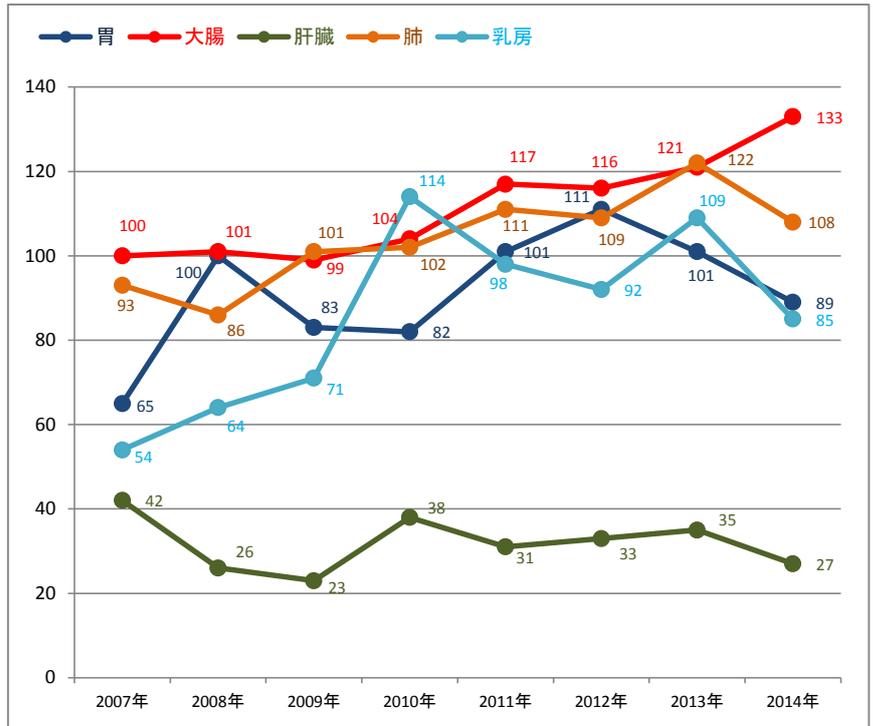
# 東広島医療センター 院内がん登録集計表 - 2014年診断症例 -

広島県がん診療連携拠点病院共通様式

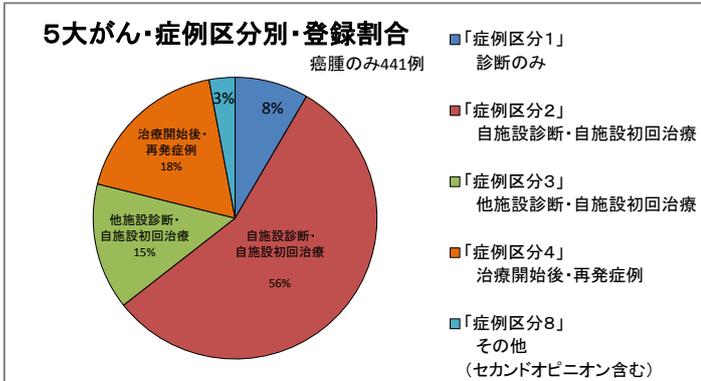
## I 部位別 院内がん登録登録件数

部 位	2014年	
	登録件数	構成比%
口腔・咽頭	23	2.7%
食道	21	2.5%
胃	89	10.6%
結腸	82	9.8%
直腸	51	6.1%
肝臓	27	3.2%
胆嚢・胆管	13	1.6%
膵臓	28	3.3%
喉頭	3	0.4%
肺	108	12.9%
皮膚	25	3.0%
乳房	85	10.1%
子宮頸部	38	4.5%
子宮体部	7	0.8%
卵巣	11	1.3%
前立腺	83	9.9%
腎・他の尿路	29	3.5%
膀胱	50	6.0%
脳・中枢神経	10	1.2%
甲状腺	37	4.4%
その他	18	2.1%
合計	838	

## II 5大がん別・院内がん登録登録件数(2007年~2014年)



## III 2014年 5大がん・症例区分別・登録割合



## IV 2014年 部位別・ステージ別治療法

